

稲荷初午祭を斎行しました

大和本宮の境内社である和合三社において稲荷初午祭が斎行されました。

管長殿による祝詞奏上の後、湯立神樂神事が行われ、神樂囃子の奉楽の中、湯巫女は両手に手草（笹）を持ち、湯釜の熱湯に浸して釜湯を撒いて、祭場、参拝者を祓い清めました。今回ご参拝いただいた方に、令和3年の新しい年を迎えるにあたり、稲荷社の社頭幕を奉納して下さった方がおられました。管長様は祭典後の挨拶で丁重に御礼を述べられ、また湯立神事で撒かれた釜湯を浴びられたご参拝の皆様は、アルコール消毒とは違うありがたいお清めだと話しをされ、場内の皆、笑顔で和やかな雰囲気になりました。そして、恒例の福笹を手に参拝者は嬉々として祭場を後にされました。







